

情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026 年 4 月 6 日作成 第 1.0 版

研究課題名	立位・臥位の骨盤傾斜を考慮して行った人工股関節全置換術における Combined Sagittal Index の評価
研究の対象	2021 年 1 月～2026 年 1 月までの期間に横浜市立大学附属病院において人工股関節全置換術（THA）を受けた患者さんのうち、術前および術後 3 か月、術後 1 年の各時点で立位・臥位・座位の脊椎・骨盤側面 X 線撮影が実施されている方を対象とします。
研究の目的	本研究は、立位・臥位での骨盤傾斜を考慮して人工股関節全置換術（Total Hip Arthroplasty；THA）を行った症例において、術後座位における Combined Sagittal Index（CSI）を評価し、CSI が逸脱する群の術前予測因子を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	既存の診療記録および画像情報を用いた観察研究です。 電子カルテおよび画像診断システムから、術前・術後 3 か月・術後 1 年の立位／臥位／座位側面 X 線像から、Sacral Slope（SS）、Lumbar Lordosis（LL）、Ante Inclination（AI）、Pelvic Femoral Angle（PFA）、CSI を医師が計測します。 主要評価として、術後座位 CSI の逸脱（座位 $CSI \leq 151^\circ$ ）の有無と、その術前予測因子を検討します。なお、この研究では、既に取得済の情報をを用いるため、追加でご負担が生じることはありません。
研究期間	西暦 2026 年 6 月 25 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2028 年 3 月 31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2026 年 6 月 25 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】 診療録より以下の情報を収集します。 1. 基本属性：年齢、性別、身長、体重、BMI 2. 基礎疾患：変形性股関節症、特発性大腿骨頭壊死症、関節リウマチ、その他 3. 手術情報：手術日、術側（右／左）、術式） 4. 既往歴：脊椎手術歴 術前および術後（3 か月、1 年）の単純 X 線画像（立位・臥位・座位側面像）
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受は行いません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 整形外科 池 裕之
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究は外部資金を用いずに実施し、必要時は研究責任者が負担して行います。本研究に関して開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者）池 裕之
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 整形外科 （研究責任者・問い合わせ担当者）池 裕之 電話番号：045-787-2800（代表）	